



タイトル「**2023年度危機管理学部(公開用)**」、フォルダ「**実務経験のある教員による科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



科目ナンバー	RMGT3344		
科目名	コミュニケーション英語 4		
担当教員	宮川 正		
対象学年	3年,4年	開講学期	後期
曜日・時限	金 3		
講義室		単位区分	選
授業形態	演習	単位数	1
科目大分類	専門		
科目中分類	専門展開		
科目小分類	専門基礎		
科目の位置付け（開発能力）	■ D Pコード-学修のゴールを示すディプロマポリシーとの関連 DP3-H [論理的思考力・批判的思考力] 理路整然とした思考を備えつつ、偏りを排除するための内省をもって、問題・課題を合理的に解決することができる。 DP6-K [表現力・対話力] 文章及び口頭で、自らの考えを的確に表現し、他者に過不足なく伝達することができる。 ■ C Rコード-学修を通じて開発するマインドセット・ナレッジ・スキルを示すコモンルーブリック (C R) との関連 A1 グローバル感覚 (20%) A2 異文化適応 (20%) H1 論理的思考 (15%) H2 批判的思考 (15%) K1 ライティング・コミュニケーション (20%) K2 オーラル・コミュニケーション (10%)		
教員の実務経験	本校卒業後、航空自衛隊に入隊、以来40年余り国の安全保障にかかわる業務に従事しました。その間、米国留学や防衛駐在官勤務（米国）を経験するとともに、実任務としても中東地域に滞在しました。本授業では各国で得た実務経験を生かすと共に、グローバルな時代を生き抜いていく学修者にとって必要な知識を還元していきます。（第2～13回）		
成績ターゲット区分	■成績ターゲット 能力開発の目標ステージと対応 3 発展期 ～ 4 定着期		
科目概要・キーワード	前半：国際会議に参加する場合に必要な基本的な事項について確認します。比較的小規模な会議（十数名）を想定し、スピーキングとライティングのスキルを養うための授業を行います。（第1～7回） 後半：危機管理に関連する時事問題を題材に、英文トピックの要約及び和文トピックの英訳のスキルを養うための授業を行います。（第8～14回） 発展的な内容を扱うために選抜制をとり、レベル別クラス編成（上級・中級）を実施し、学習効果を高めます。授業形態は演習形式により行います。なお、対応するコンピテンスに基づき効果的な授業方法として、又は各授業を補完・代替するためオンライン授業を一部取り入れる場合があります。 ■キーワード：理解力向上、情報発信力		
授業の趣旨	■副題 前半：国際人としての振る舞い方 後半：危機管理に関する時事問題を読み解く ■授業の目的 前半：グローバル感覚や異文化適応能力を高め、国際人として振る舞うための基本的な事項を身に付けることを目的とします。論理的・批判的な思考力を身につけ、正確に自身の考えを英		

	語により伝える能力の向上を目指します。 後半：危機管理に関する時事問題を論理的・批判的に読み解き、簡潔にまとめることができる能力を高めることを目的とします。英文・和文両方の能力向上を目指します。 ■授業のポイント：全般を通じ、スピーキング・ライティング・リーディングすべての面において、国際社会で通用する能力が得られると考えています。												
総合到達目標	■国際人として振る舞うことができるように、国際的な危機管理への知識を深めつつ、英語によるコミュニケーション力（スピーキング・ライティング・リーディング）を高め、プレゼンテーション能力を修得します。 ・比較的小規模な国際会議（十数名）に参加するために備えておきべき必要な事項について列挙することができる。（第1～5回） ・10分程度のプレゼンテーションを行うことができる。（第6～7回） ・危機管理に関する時事問題のキーワード、ポイントについて説明することができる。（第8～13回）												
成績評価方法	■宿題型ミニテスト3回（45%）：適用ループリックA1、A2、H1、H2、K1、K2 （評価の観点）国際人としての振る舞い方の基本（1回）、プレゼンテーション資料の作成（1回）、英文手紙の書き方（1回）について習得しているかを確認するテストです。授業のポイントを押さえているか評価します。 （フィードバック方法）次の回の授業において解説します。 ■課題2回（55%）適用ループリックA1、A2、H1、H2、K1、K2 （評価の観点）危機管理に関する文章（英文記事1回、和文記事1回）を要約し内容を説明する文章（英文）を作成する課題です。内容を正確に把握し要約できているか、相手の理解を得ることができる内容かを評価します。 （フィードバック方法）提出後、解説を行います。												
履修条件	TOEIC L&R 500点相当の英語力を要する。												
履修上の注意点	英語能力は一朝一夕では向上しません。日常生活から英語に接する機会を増やすようにしましょう。												
授業内容	<table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th><th>内容</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td> ①授業テーマ：授業ガイダンス ②授業概要：授業の構成、テーマ及び内容、スケジュール、評価の方法について説明を行います。（A1、A2） ③予習(60分)：シラバスを読み、授業全体の内容と流れを確認する。 ④復習(60分)：授業の目的と到達目標に加え、本講座の受講目標をまとめる。 </td></tr> <tr> <td>2</td><td> ①授業テーマ：英文の読み書きに慣れる（1） ②授業概要：自己紹介を英文で作成することができる。 担当教員の実務経験を踏まえて、国際会議における自己紹介の一例を紹介します。（A1、A2、K1） ③予習(60分)：3分程度の自己紹介分を日本語で作成する。 ④復習(60分)：授業の内容を確認し、それらを使って文章を作成する。 </td></tr> <tr> <td>3</td><td> ①授業テーマ：英文の読み書きに慣れる（2） ②授業概要：会議の主催者または参加者として挨拶文を作成することができる。 担当教員の実務経験を踏まえて、主催者または参加者としての挨拶の一例を紹介します。（A1、A2、H1、H2、K1） ③予習(60分)：第1回宿題型ミニテスト：第2及び3回の授業の内容を把握できているかを問う問題です。 ④復習(60分)：授業の内容を確認し、それらを使って文章を作成する。 </td></tr> <tr> <td>4</td><td> ①授業テーマ：プレゼンテーション資料の作成と発表（1） ②授業概要：プレゼンテーション資料の作成について理解することができる。 担当教員の実務経験を踏まえて、プレゼンテーション資料作成の説明をします。（A1、A2、H1、H2、K1、K2） 第1回宿題型ミニテストのフィードバックを行う。 ③予習(60分)：プレゼンテーション資料作成の基本事項を調べておく ④復習(60分)：授業の内容を確認し、それらを使って文章を作成する。 </td></tr> <tr> <td>5</td><td> ①授業テーマ：プレゼンテーション資料の作成と発表（2） ②授業概要：プレゼンテーション資料の発表について理解することができる。 担当教員の実務経験を踏まえて、プレゼンテーション資料発表の説明をします。（A1、A2、H1、H2、K1、K2） ③予習(60分)：第2回宿題型ミニテスト：第4及び5回の授業の内容を把握できている </td></tr> </tbody> </table>	回	内容	1	①授業テーマ：授業ガイダンス ②授業概要：授業の構成、テーマ及び内容、スケジュール、評価の方法について説明を行います。（A1、A2） ③予習(60分)：シラバスを読み、授業全体の内容と流れを確認する。 ④復習(60分)：授業の目的と到達目標に加え、本講座の受講目標をまとめる。	2	①授業テーマ：英文の読み書きに慣れる（1） ②授業概要：自己紹介を英文で作成することができる。 担当教員の実務経験を踏まえて、国際会議における自己紹介の一例を紹介します。（A1、A2、K1） ③予習(60分)：3分程度の自己紹介分を日本語で作成する。 ④復習(60分)：授業の内容を確認し、それらを使って文章を作成する。	3	①授業テーマ：英文の読み書きに慣れる（2） ②授業概要：会議の主催者または参加者として挨拶文を作成することができる。 担当教員の実務経験を踏まえて、主催者または参加者としての挨拶の一例を紹介します。（A1、A2、H1、H2、K1） ③予習(60分)：第1回宿題型ミニテスト：第2及び3回の授業の内容を把握できているかを問う問題です。 ④復習(60分)：授業の内容を確認し、それらを使って文章を作成する。	4	①授業テーマ：プレゼンテーション資料の作成と発表（1） ②授業概要：プレゼンテーション資料の作成について理解することができる。 担当教員の実務経験を踏まえて、プレゼンテーション資料作成の説明をします。（A1、A2、H1、H2、K1、K2） 第1回宿題型ミニテストのフィードバックを行う。 ③予習(60分)：プレゼンテーション資料作成の基本事項を調べておく ④復習(60分)：授業の内容を確認し、それらを使って文章を作成する。	5	①授業テーマ：プレゼンテーション資料の作成と発表（2） ②授業概要：プレゼンテーション資料の発表について理解することができる。 担当教員の実務経験を踏まえて、プレゼンテーション資料発表の説明をします。（A1、A2、H1、H2、K1、K2） ③予習(60分)：第2回宿題型ミニテスト：第4及び5回の授業の内容を把握できている
回	内容												
1	①授業テーマ：授業ガイダンス ②授業概要：授業の構成、テーマ及び内容、スケジュール、評価の方法について説明を行います。（A1、A2） ③予習(60分)：シラバスを読み、授業全体の内容と流れを確認する。 ④復習(60分)：授業の目的と到達目標に加え、本講座の受講目標をまとめる。												
2	①授業テーマ：英文の読み書きに慣れる（1） ②授業概要：自己紹介を英文で作成することができる。 担当教員の実務経験を踏まえて、国際会議における自己紹介の一例を紹介します。（A1、A2、K1） ③予習(60分)：3分程度の自己紹介分を日本語で作成する。 ④復習(60分)：授業の内容を確認し、それらを使って文章を作成する。												
3	①授業テーマ：英文の読み書きに慣れる（2） ②授業概要：会議の主催者または参加者として挨拶文を作成することができる。 担当教員の実務経験を踏まえて、主催者または参加者としての挨拶の一例を紹介します。（A1、A2、H1、H2、K1） ③予習(60分)：第1回宿題型ミニテスト：第2及び3回の授業の内容を把握できているかを問う問題です。 ④復習(60分)：授業の内容を確認し、それらを使って文章を作成する。												
4	①授業テーマ：プレゼンテーション資料の作成と発表（1） ②授業概要：プレゼンテーション資料の作成について理解することができる。 担当教員の実務経験を踏まえて、プレゼンテーション資料作成の説明をします。（A1、A2、H1、H2、K1、K2） 第1回宿題型ミニテストのフィードバックを行う。 ③予習(60分)：プレゼンテーション資料作成の基本事項を調べておく ④復習(60分)：授業の内容を確認し、それらを使って文章を作成する。												
5	①授業テーマ：プレゼンテーション資料の作成と発表（2） ②授業概要：プレゼンテーション資料の発表について理解することができる。 担当教員の実務経験を踏まえて、プレゼンテーション資料発表の説明をします。（A1、A2、H1、H2、K1、K2） ③予習(60分)：第2回宿題型ミニテスト：第4及び5回の授業の内容を把握できている												

	かを問う問題です。 ④復習(60分)：授業の内容を確認し、それらを使って発表の練習をする。
6	①授業テーマ：異文化社会に慣れる（１） ②授業概要：ソーシャルな場における注意項目について理解することができる。担当教員の実務経験を踏まえて、国際会議などに付随する社交的な場に参加する場合に押さえておくべき事項について説明をします。（A1、A2、K2） 第2回宿題型ミニテストのフィードバックを行う。 ③予習(60分)：ソーシャルな場とはどのような場か調べておく ④復習(60分)：授業の内容を確認し、まとめておく。
7	①授業テーマ：異文化社会に慣れる（２） ②授業概要：英文手紙の書き方について理解することができる。担当教員の実務経験を踏まえて、国際会議などへの招待状への返答及び参加後の礼状の書き方について説明をします。（A1、A2、H1、H2、K1） ③予習(60分)：第3回宿題型ミニテスト：第6及び7回の授業の内容を把握できているかを問う問題です。 ④復習(60分)：授業の内容を確認し、それらを使って文章を作成する。
8	①授業テーマ：英文記事の読解と要約（１） ②授業概要：危機管理に関する英文記事を読み内容を理解することができる。担当教員の実務経験を踏まえて、キーワードや重要な文章の要約について説明をします。（A1、A2、H1、H2） 第3回宿題型ミニテストのフィードバックを行う。 ③予習(60分)：危機管理に関する記事を読み、ポイントを英語でイメージする。 ④復習(60分)：授業の内容を確認し、それらを使って文章を作成する。
9	①授業テーマ：英文記事の読解と要約（２） ②授業概要：危機管理に関する英文記事を読み内容を理解することができる。担当教員の実務経験を踏まえて、キーワードや重要な文章の要約について説明をします。（A1、A2、H1、H2） ③予習(60分)：危機管理に関する記事を読み、ポイントを英語でイメージする。 ④復習(60分)：授業の内容を確認し、それらを使って文章を作成する。
10	①授業テーマ：英文記事の読解と要約（３） ②授業概要：危機管理に関する英文記事を読み内容を理解することができる。担当教員の実務経験を踏まえて、キーワードや重要な文章の要約について説明をします。（A1、A2、H1、H2） 第1回課題の内容を伝える。11回目の授業で提出する。 ③予習(60分)：危機管理に関する記事を読み、ポイントを英語でイメージする。 ④復習(60分)：授業の内容を確認し、それらを使って文章を作成する。
11	①授業テーマ：和文記事の英訳（１） ②授業概要：危機管理に関する和文記事を、簡単な英訳に変換できる。担当教員の実務経験を踏まえて、キーワードやポイントの抽出について説明をします。（A1、A2、H1、H2、K1） 第1回課題の提出日 ③予習(60分)：危機管理に関する記事を読み、ポイントを英語でイメージする。 ④復習(60分)：授業の内容を確認し、それらを使って文章を作成する。
12	①授業テーマ：和文記事の英訳（２） ②授業概要：危機管理に関する和文記事を、簡単な英訳に変換できる。担当教員の実務経験を踏まえて、キーワードやポイントの抽出について説明をします。（A1、A2、H1、H2、K1） 第1回課題のフィードバックを行う。 ③予習(60分)：危機管理に関する記事を読み、ポイントを英語でイメージする。 ④復習(60分)：授業の内容を確認し、それらを使って文章を作成する。
13	①授業テーマ：和文記事の英訳（３） ②授業概要：危機管理に関する和文記事を、簡単な英訳に変換できる。担当教員の実務経験を踏まえて、キーワードやポイントの抽出について説明をします。（A1、A2、H1、H2、K1） 第2回課題の内容を伝える。14回目の授業で提出する。 ③予習(60分)：危機管理に関する記事を読み、ポイントを英語でイメージする。 ④復習(60分)：授業の内容を確認し、それらを使って文章を作成する。
14	①授業テーマ：コミュニケーション英語3で学習した内容の確認・まとめ（１） ②授業概要：授業内（第2～7回）で学習した内容の確認とまとめをする。（A1、A2、H1、H2、K1、K2） 第2回課題の提出日

	③予習(60分)：これまでの授業で使った資料を読み返しておく。 ④復習(60分)：授業の内容を確認し、まとめておく。
	15 ①授業テーマ：コミュニケーション英語3で学習した内容の確認・まとめ(2) ②授業概要：授業内(第8～13回)で学習した内容の確認とまとめをする。(A1、A2、H1、H2、K1、K2) 第2回課題のフィードバックを行う。 ③予習(60分)：これまでの授業で使った資料を読み返しておく。 ④復習(60分)：授業の内容を確認し、まとめておく。
関連科目	英語Ⅰ(RMGT/SSCS1701) 英語Ⅱ(RMGT/SSCS1702) 英語Ⅲ(RMGT/SSCS1703) 英語Ⅳ(RMGT/SSCS1704) 英語Ⅴ(RMGT/SSCS1705) 英語Ⅵ(RMGT/SSCS1706) 英語Ⅶ(RMGT/SSCS1707) 英語Ⅷ(RMGT/SSCS1708) TOEIC演習1(RMGT/SSCS1771) TOEIC演習2(RMGT/SSCS1772) TOEIC演習3(RMGT/SSCS1773) TOEIC演習4(RMGT/SSCS1774) コミュニケーション英語1(RMGT3341) コミュニケーション英語2(RMGT3342) コミュニケーション英語3(RMGT3343)
教科書	授業資料は毎回指示します
参考書・参考URL	首相官邸HP: https://www.kantei.go.jp/ 外務省HP: https://www.mofa.go.jp/ BBC News HP: https://www.bbc.co.uk/news/ CNN News HP: https://edition.cnn.com/ United Nations HP: https://www.un.org/en/
連絡先・オフィスアワー	■連絡先 開講時に告知します。 ■オフィスアワー 開講時に告知します。それ以外の時間については、メール等で事前にアポイントメントを取るにより研究室で対応します。
研究比率	■危機管理領域との対応 災害マネジメント20%：パブリックセキュリティ30%：グローバルセキュリティ40%：情報セキュリティ10% ■危機管理学と法学とのバランス 危機管理学80%：法学20%

